**NPO(JD)・にする**

※のびはのです。

**１．をまえたについて**

でわれたなどをとして39のがえていたについて、2024ににおいて、はからであり、のはいとじました。30に・・※1

ととので「」がされ、10には「※2」

がし、へのとがされつつあります。

※１ ：のをめざす

※２ ：にづくをけたに対するのにする

このようなをまえ、のとしてのやのあり方についてのえをおえください。とわれるの3について、のにもいを、a･b･cから1つんでください。（このはとはがなります。）

①（いわゆるパリにって）のについて

aににるべき　　　　　bはない　　　　　cその(　　　　　)

②にづくやをするためののについて

aににるべき　　　　　bはない　　　　　cその(　　　　　)

③に関する（ののやなどをむ）をするための「センター」のについて

aににるべき　　　　　bはない　　　　　cその(　　　　　)

●その、おづきのことがあればにしてください。

◆

①　c　その　なや13ののをけ、たなのをとして、14と24にがそれぞれをしましたが、いずれものによってとなりました。のをめたのについては、これまでののもまえ、においてにすべきとえます。、いわゆる、ヘイトスピーチ、などのをしてきており、のないののため、まずはこれらのにづき、きめやかなをしていきます。

②　c　その　12にでりまとめた「に対するやのないのにけた」において、「をさせないようにするための、ににするのあるのなど、きする。その、されているによるにる・の・もまえるとともに、に対するやのないのにけ、のをめ、・のをし、するものとする」とされており、33にづくびのをまえ、していくがあるとえています。

③　c　その　②とじ

◆

①　a

②　c　その　・がめられた・をするとともに、のやののについて、をめます。

③　c　その　②とじ

あらゆるをけたをすることのできる、をし、・さがにされた、よりのある（「」（））をし、をうみをします。

◆

①　a

②　cその　にづくとをめ、やのあるに対するあらゆるとをしのがされるのにけ、のをめ、なるをするがあるとえています。

③　c　その　　とじちをさないよう、な・をするとともに、センターのもめ、にるやそのをにし、のをぐためのみをするがあるとえます。

◆の

①から③てa

がでのとしてしてしまい、その後、されるまでのがかかってしまったをまえ、のとして、へのと、とさないというをらかにすべきといます。

◆

①から③てc

にづき、くのが、ったの、のやをすることをに、をにする、をけることをいられて、をみてるかかについてらをするをわれ、にわたりいとをけてまいりました。

のにおいて、のはにするものであり、にるのはであるとされ、のがめられました。このようなをとすことのないように、あらゆるとをし、やによってけてられることなくがされるをすべく、をくします。

◆

①から③てa

がされ、のから5までのは582にとどまっています。どもをってはいけないとをけ、くをいられたすべてのたちにもくをできるようめます。「の」だとがじたのやについてでどもたちにえることがです。のなおよびをのもめて、をはじめ、にかかわったたちののもとにいをすすめるべきです。また、センターのについて、をにいかけけるでなにしていくために、もいにししていきたいといます。

◆れいわ

①から③てa

にづく・のにむけたおよびのに関して、がした「に対するやのないのにけた」の、において「に対するやのないのにけた」がされました。ヒアリングにおいては「に対するやののためにはインクルーシブをすべき」。「のにかかわらずにびにつを通じてやをから」がされていましたが、とのをてされたでは、「ユニバーサルデザイン2020でされた「のバリアフリー」のの」にとどまっています。に対する・のないのをですのであれば、のをのみでめるのではなく、、をれるべきとえます。

◆

①から③てa

は、にづくのにするとをくめます。でがとされたことをけ、がなをじるべきです。

のをめ、すべてのがをけられるようにのをとし、がいのをるためのをめるべきであるとしています。にづくをぐためのやのをめ、のとのをめていきます。

**．ならびにについて**

2011のでは、のあるのはのないの２だった、とのもあります。2024の、さらにのと、のはであり、されたのはだにしがたず、のあるやのはさらにしいにあります。ののもきく、がいつ、どこできるかのはであり、があるにとっての・のためのにもがめられています。にするならびにについて、のえをおえください。のからすべきとえる２つまでに、○をつけておえください（１つでもよい）。

①のあるにとってはまでくことにもがあり、まずはまでのアクセシビリティをめるをめるべきである。

②のはのあるにとってしにくいであるが、にじ、もめてされたにできるようされるべきである。

③にえて、のあるがのとにをい、のをえたにめるべきである。

④「」のにめ、なやについてのとともにすべきである。

●その他、おづきのことなどあればにしてください。

◆

②、③

７においてされたの（のをする）により、のメニューに「サービスの」をし、もめてをすることとしています。また、のあるなどをはじめとしたのについて、とし「」のにんでいます。

◆

②、④

は、もされることのない「インクルーシブ」なをし、、、、、がいのなどにかかわらず、すべてののがして、の・、の・、のなどをうのをつくるべきだとえています。また、、がいなどごとのをにしていきます。

◆

②、④

ごのはすべてなだとえます。そので、もめたへのり・、サービスをし、できる・にけたのないをすることがだとえます。また、ののもながら「」のをでにめるとともに、がにまっているに対して、のをきめかくうべきだとえます。

◆の

②、③、④

にがしてできるのをめることをにしながら、もふくめて、のやのなどもして、なを、することがだとえています。

◆

①、②

ハードのにはがかかるもあり、デジタルなどもでめるべきです。また、③、④もであり、にのとハザードマップをしたり、なやについて、ともにえるをつこともとえます。

◆

②、④

ではいすのバリアフリートイレのや、などのをにすすめていくことがであり、がをにやしてにすべきです。をにののへができるづくりや、がしくなった、へするなどがにできることをめます。にでは、やコミュニティーのがになってくることから、「」をするで、、そのとのがともにってをすすめます。

さきので、がされました。このでされる「」について、がであるをからするかのようなをするをがしましたが、、、のでされました。はのままでされました。は「をするはくない（）」としましたが、やにらしてめてなものです。

のでは、ピアサポート（による）のがされ、「がのとしてののをかっているたちとし、っていくみがある。（が）たにわることは、のれからもにおかしい」とするがされました。では、こののをめます。

◆れいわ

③、④

のでは、・・・におけるは5、にはくののがおられ、「はももニーズがなばかり。どこのもしている」でした。つまり、がむでがきれば、のでなのをれるしかない。のをバリアフリーし、・をするなど、もさないインクルーシブのをしていくがあります。そのためにも、となるのバリアフリーをめ、のをもができるユニバーサルなとしてすることがとえます。

◆

②、④

やガイドの、けの・のをし、のにがいやのをし、のあるをするがあります。また、やとし、のネットワークをしていくことがめられます。

**３．のあるのについて**

やのにち、「があるのについてをくことはである」とのの、はさまざまなをけています。やでもマニュアルなど、がされていますが、のをにさらなるをめざしたいとえます。すべてののあるがをするためにどのようながめられるか、のえをおえください。のからすべきとえる２つまでに、○をつけておえください（１つでもよい）。

①のは「」「ないの」にするマニュアルをし、やをして、そのやにめ、をすべきである。

②までのアクセス、の、、によるのなど、をしたのバリアフリーにめるべきである。

③については、、、、かりい、アクセシブルなのなど、があるにがにくようめるべきである。

④のやのなどのをはかるべきである。

●その他、おづきのことなどあればにしてください。

◆

②、④

のののはなとしています。のハードやのソフトのでのをるのみについて、としても、の・を通じてにししています。

また、５にの「のびに関する」がりまとめたにおいて、のなどがをめるべきとしてげられています。は、のをはじめとするののにけ、のなどにおけるのをめていきます。

◆

②、④

もがとがあるのをし、やのバリアフリー、のにみ、やがいののとをめます。また、くののをさせるインターネットをします。

がをししやすくすることにつながるよう、びにるについてのとすることをします。でスクリーンをめるなど、がいにこえるとのをし、をしやすくするにします。

◆

②、④

は、すべてのがにをできるよう、をしたがいのや、・きののにするなど、さまざまながいをつにしたのににんでまいりました。も、のについてきをめていくとともに、における、がいのがしやすくなるよう、さまざまなをれてしてまいります。

◆の

①、②、③、④

のあるの、のについては、のしとがだとえています。のにおいて、をし、のあるところからしていくことがましいとえます。

◆

②

がいやのとしてののため、のやのバリアフリー、・・によるやとしてのチェックによるについてのにみます。また、インターネットのにより、すべてのがよりしやすいづくりをめます。

◆

②、④

すべてしたいところですが、あえてこの2つにしました。

の5におこなわれたのでは、のがさきのではの39.2で、は96とべ7785しており、までくなるとがきくしていることをとりあげました。また、のは、がとにでやまでくはえているものの、にもかかわらずではまだ131のにとどまっていることをとりあげています。のをにすることとあわせて、やなどもがしやすいにしてをすすめることが、をすることにつながります。

では、ポスターのにのをすることがかれたり、にられたにカードがされて、をめやすくするががりました。がでとりあげたり、をめるがにれたりなどのがあらわれました。ともはのをすすめていきます。

◆れいわ

①、②

③④もにでなかなかぶのはしいです。

ではがめられるようになりましたが、でのの、ヘルパーのがめられず、の（）でなければならないというのはらかにで、のにすべきとえます。

◆

②、③

は、すべてのがいのあるがスムーズにできるよう、にをけるのをしています。また、やのをめています。がなのためにのやのもするようにめます。

**．のありについて**

のあるのについては、のがにくいことやがでないことなどにより、をるにもがあり、「」とわざるをえないにある、などのもされています。として、にせざるをえない、をするしかない、といったにかれているもくいらっしゃいます。このようなをするためののあり方について、のえをおえください。のからすべきとえる２つまでに、○をつけておえください（１つでもよい）。

①にしてしたをられるよう、のをすべきである。

②のにをけ、とあわせてできるをすべきである。

③のやなど、のなをすべきである。

④にづくのをらかにし、すべきである。

⑤とのをすべきである。

⑥をめる「」そのものをすべきである。

●その他、おづきのことなどあればにしてください。

◆

なし。「その」としてのように

においてしたびをるでは、などのやなどをわせて、ごがするをできるようすることがであり、せて、などのをやすをめ、のあるがしてをることができるようめてまいります。

◆

①、②

のへのをめるため、のにづくのにさらなるをえ、すでにでのあるなののや、あるをできるのをします。

におけるのにけたみをめるとともに、がのみをとしてビジネスをしないように・します。

におけるへのをり、へののをめ、なのやへのなどなみをします。

Bやセンターをしているがいについても、がめられ、のにじてやなどといったがされてしてけるよう、がいののもにします。

がいのらしをえるのとのげをします。

◆

①、③

がいのをするで、はなをたしています。これまでは、がいのをするみや、のなどをしてきました。201910からは、がされています。

6にとしてにしたのでは、ののをやかにしなをすることや、のをすること、また、のについては、モデルからモデルにするなどなるにけたをうこと、などもえました。

さらに、のやをめたがいののを通じて、のとのをしていきます。

◆の

①、③

のもすることがましく、をとする（）にえ、フリーランスやへのをするみの、なをじ、・・のがいにとらわれないののをする。できないはとしてをすべきとえている。またのがである。

◆

①

のにとらわれないたな・のをします。

がいのため、の（からのの）やなのをいます。がいに関するについてをめざします。

◆

②、③

すべてをしたいところですが、あえて2つしました。ののはとです。のからのもとに、Bにおいて15000のなど、あまりにもすぎるというり、いらだちのがいています。しているすべてのにをびがされるには、をにげ、にてんすることなど、・を「」にもとづいてすることがです。

さきのでののでは、のはまれていませんでしたが、が24ののがしたについてすることをめ、をのにわせてにすようがしました。、によるしたをすぐすべきだとりました。

のくらしがかかっており、と、のののしをめます。

◆れいわ

②、③

れいわは、として「」をし、、のをえることをにれています。

また、として、「（B）」のでく（）ののため、もとにをし、イタリアの、のような、・ではないのきへの・のをすることをにれています。

◆

③、④

がいがにせず、したができるをすることがだとえます。そのためにも、がいがでをてられるようのがです。で、がいのやなどでがしいがいや、していてもがでないがいがにせずができるように、のなどもせてめるべきだとえます。さらにがいのなどのがくなったに、にわたってれる「がい」のもすべきとえます。

**．のあり方について**

　のへの「」でも、やなどののがしくされ、とともにへのがくめられました。また、よりないやのをめるな(いわゆる「」)、のなど、のについてはくのがされました。また、による「」などのもされ、の、のあり方にはでくのがされています。このようなについてののおえをおえください。のからすべきとえる２つまでに、○をつけておえください（１つでもよい）。

①のにつながるやについて、なをすべきである。

②にもつながる「」など、をしないをすべきである。

③などとをき、がらのをできるをすべきである。

④のやサービスなど、にらなくともでらせるシステムをすべきである。

⑤にい・をするためののありについてし、してすることがめられる。

●その他、おづきのことなどあればにしてください。

◆

なし。「その」としてのように

のがのとしてしてらしくらすことができるよう、、・、まい、がにされた「にもしたケアシステム」のをめてまいります。

また、をむのあり方については、ともをむのごをきつつ、をめてまいります。

なお、については、12のにいにされているものとしています。

◆

①、④

によるやそのへののをさせ、でしたができるよう、からへのをします。になのについては、とともにしながらします。また、のをるため、でののをめます。がやのをしないに、のがにわれ、がすることのないよう、なをじます。には、びののがすることで、のやみなしによるのをぐをじます。

◆

③、④

がいのあるがでしてらしくらせるように、、がい・、まい、の、のい、・がにされた「がいにもしたケアシステム」のをします。については、もがしてできるがされるように、をにするためのみのや、からへの・にけた・の、よりののなどについて、かつなをするがあります。また、のがられないののにし、のをめ、なしについてしていくことがであるとえます。

◆の

④、⑤

を「」としてではなく、のとしてすることは、をするうえでなことです。がについてしいをてるをします。また、のをらすことで、られたをのにけることもになります。ケアのメニューをさせ、ができるだけでできるようなサービスのがです。とくにのあるがでらしていくためには、①②③ヘルパー（）の④グループホームの⑤ピアサポート・ピアカウンセリングの⑥によるの⑦(からすれば)のなどのがだとえています。

◆

⑤

のがいへのでのをするため、「・しごとサポーター」のなる、による・のにみます。

さらに、のにとらわれないたな・のをします。

◆

①、②

、40にわたってにさせられていたさんがをえしました。は「がいたのはさんのによるもので、がならばにてができるはずだ」、などとのをわないものでした。さんのようなをとつくりださないために、はのをめて、はをとするであり、によるのをめるすべてのの、をすべきです。をめ、モデルから/モデルによるをづけ、、ケアなどをすすめます。

◆れいわ

①、④

には②③もにとえます。

そので、にをないのさとをするためには、のの９がで、をげなければがたないをえるがあるとえます。

に、がいベルギーにおいてをらしたにぶがあるとえます。をってにのをらすとともに、ったののをがし、スタッフのをしての・のアウトリーチにすなどのみをけ、に・とをサービスにすというです。

◆

①、④

がいのやをするやはしいでありです。で、やではなく、またにさせないでをるためには、がです。、アパートのげのや、グループホームのなどのなどがです。せて、の、のサポート、カウンセリング、のえをしのをします。

**．のについて**

は2011のの、で３のしをしていますが、まではなされていません。2014にをし、2022には「（)」がされ、にしてさまざまながされています。

では、の（2013）やアクセシビリティの（2022）など、きなもられます。2024にはをめぐるがされ、はに対するやのないのにけたをしました。

のについて、のおえをおえください。のからすべきとえる２つまでに、○をつけておえください（１つでもよい）。

①「」のに、「をまえて」というをむべきである。

②「」のをにわせてし、「」のをすべきである。

③「の」において、「の」がにすることをし、「」やとなどの「」についてすべきである。

④「」では、のをのないとじにするから、にする、の、とのなどをすべきである。

⑤「における」は、のやのなどをし、がするのをむなど、ながである。

⑥の、のからのなどをまえて、「の」「からのと」「びの」など、たなをけるべきである。

●その他、おづきのことなどあればにしてください。

◆

なし。「その」としてのように

はのというづけであり、にされているはにののにおいてするべきものとしております。

もまえ、からのをてされたにづくをめていくことが、まずはであるとえております。

◆

①、③

がい、がい、がいのへのをし、ともにしながらがいをめ、にかれているのなど、のをします。などやマイノリティのがいがするのをい、のへのをめていきます。

◆

なし

は、もがしてらせできるをするため、にづく、によるののをまえたののみのをはじめ、にまれたさまざまながいをに・します。また、にじて、がいをしつつ、、などののをいます。

◆の

なし

については、にそのを、していくがあります。そのためにをはじめとした、ののをめてりたいといます。とものないごをおいします。なについては、でのがとえており、まずはそののをけることがだとえています。

◆

なし

がい、がい、がいののへのをし、ともにしながらがいをめます。にしたのなど、のをします。

◆

③、⑥

すべてしたいところですが、あえて２つしました。2011にがされ、ののをってはされました。の、2で３、すとめられましたが、３どころか14してもされていません。からのをけましたが、/モデルにもとずいたのがです。はのをむことを、でもすべきです。

のには「ジェンダーのをむがある」というがあり、６ではすべてのをにする「がある」についてのがあります。や、したなど、すべてのでのやをもとにし、をしていくべきです。そのにより、のとジェンダーをし、でなをできるようにするべきです。

◆れいわ

①、③

◆

③、④

がいやとのによってじることをするをするべきであるとえます。がいや「たちきにたちのことをめないで」というをのあるにするためにのをがいのにすることをするべきです。

**．ののについて**

　ので、にあたりもえたいことはでしょうか。におきください。また、やホームページなどでされているをおえください。

◆

「をとするののに関する（）」が１をえたことをまえて、よりのをる、に対するやのないのにむけて、「に対するやのないのにけた」にづき、・などをめたみをします。また、スポーツや、の・のなるにもみつつ、にじてをします。

について、へのもめ、の・にし、がするでのの・をするため、やセンターのなどをめます。また、のにけて、にみます。

「ケアびそのに対するに関する」をまえ、ケアやそのへのをめます。また、センターのなどにより、におけるのをります。

やニーズのがむで、、のやテレワークのをじ、ののをります。とのをし、202510からされるのなやをえるのなど、でのないのをめます。ががした「（ハート）」のなにめます。

「によるのびびににるのに関する」をまえ、がなに対するそののコミュニケーションのにめます。せて、「のののに関する」をまえ、のをめます。また、「にするのに関する」をまえ、に関するをにします。

さらに、「」のをします。

き、のあるのとのためのやのをにしてまいります。

◆

がいのあるのニーズをまえ、がいや、、をわず、もめて、だけにらず、がいのないとともにし、してでしたができるよう、がいサービスにおけるをはじめみづくりや、にみます。き、、、グループホームなどがいサービスのをります。・・・・まちづくり・コミュニケーションなどにおけるアクセシビリティをめ、バリアをき、みんなにやさしくもがきやすいづくりをめます。がいにるのGDPについてOECDである2のをします。

・2025パンフレット

<https://cdp-japan.jp/visions/election_policies>

・2025

<https://cdp-japan.jp/visions/policies2025>

◆

がいやに対する、してきがいをってらせるの、ハード・ソフトにわたるバリアフリー、がいのアクセスの、がいのあるどもへのかつな・やインクルーシブの、がいのへの・、スポーツなど、きめかいをします。

あわせて、となる2025デフリンピックのにけて、ろうあやとにし、にけた・のをるとともに、なをいます。

のホームページ（<https://www.komei.or.jp/content/manifesto2025/>）において、がいをめ、をしています。

◆の

・ロボットなどのテクノロジーや、ののをじ、・・のがいにとらわれないがいのをします。

・がいについても、をとするがい（）にえ、フリーランスやへのをするみをするにより、なきをします。

・ポストコロナにおけるきにみ、のみならずがいについてもだけでなくテレワーク（）でえるよう、サービスをできるとICTをします。

・のをけられる「」のサービスについては、にもにする、がいができるをします。

・がいのになアクセスやコミュニケーションの、デジタル・ディバイド（）のため、サービスをとしてのをります。また、「」にづくをします。

・がいがライフステージを通じてしたをけられるよう、のなどにおけるをします。など

◆

がい・がれたでしてしたがれるよう、「」ののあるをめざします。がいのにかかわらず、じでにび、く「インクルーシブ・」をします。また、がいにおけるの、、コミュニケーションの、がいのとにけて、してらすことができるりにみます。

◆

ののは、とにもとずいて、のとして・をしにすること、のをなくすにたっていることです。のでは、にてがさまざまな、がすすめられているで、のをてとしてもづけて、をなくしてにすることをめています。どものゆえのやのはまっさきになくすべきなのに、の、で20になりますが、なみがかわらず、いまだにがいているはもくえなければなりません。

「」、、「」にもとづき、めてがどうあるべきか、にり、からにえるで、、すまいのなどをして、「のとの」がにされるのにけてしたいといます。

のホームページより「」→「」→28「・・」においてがかれています。それにえて29「」を28からさせているので、ごください。

◆れいわ

3をするれいわは、「たちに関することはたちなしにもめるな！」をのとしています。でにしてえていることは、①もがをられるへ（のの、いのちのをさない、・）。②どものころからけない、にち、ぶインクルーシブ・。③バリアフリーな（・・・のバリアの）、④サービスの・・でのをなくし、でらしけられるシームレスなに。

それのに関しては、れいわのをごください。

<https://reiwa-shinsengumi.com/policy/#%E9%9A%9C%E5%AE%B3%E3%83%BB%E5%85%B1%E7%94%9F>

◆

がいのをしたがめていくがあります。がいのをする「モニタリング」のもです。がいのをし、のとに

することをすべきであり、のやにするをつのやがいなどをすることもめていきます。